

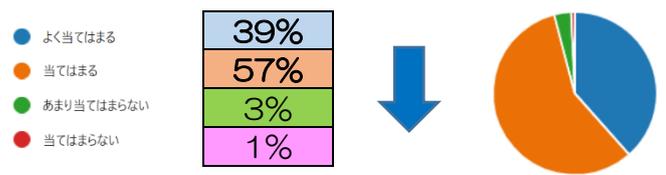
R5 2学期 学校評価アンケート結果（保護者用）

【学校（先生は）】

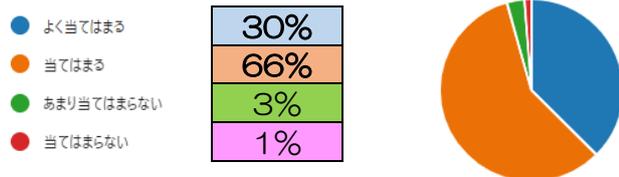
1 学校（先生）は、学校だより、HP等で、子供の様子を知らせるように努めている。



2 学校（先生）は、子供についての相談に、適切に応じてくれる。



3 学校（先生）は、子供をよく理解し、努力したことを認め、適切に評価している。

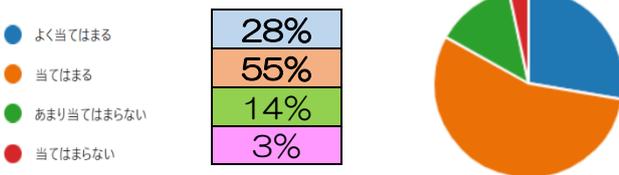


4 学校（先生）は、子供の「できた」「わかった」の実感に努め、授業を展開している。



【（ご自分の）お子さんは】

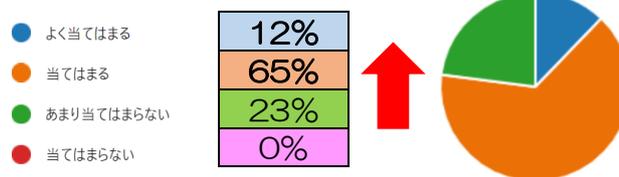
5 お子さんは、学校へ行くのが楽しいと言っている。



6 お子さんは、進んで挨拶や返事をしている。

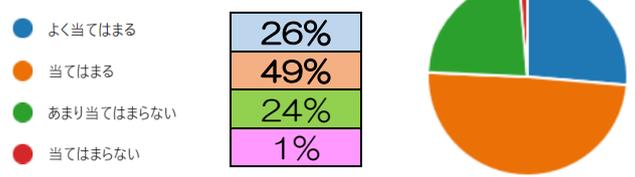


7 お子さんは、相手の立場を考えた言葉遣いに気を付けている。

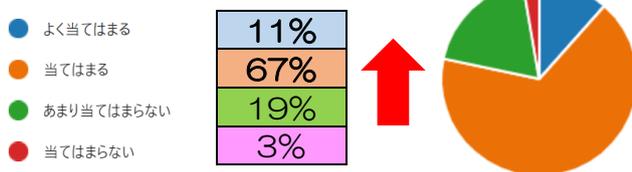


8 お子さんは、学校での様子を話してくれ。

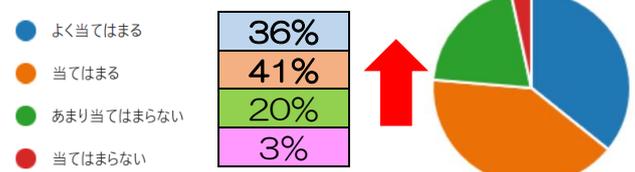
詳細



9 お子さんは、授業がよく分かると言っている。



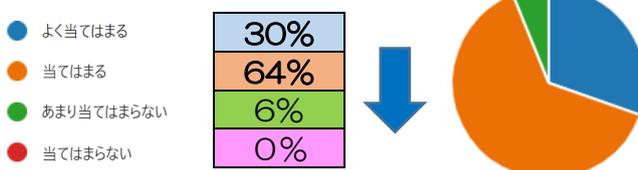
10 お子さんは、運動をよくしている。



【保護者として】

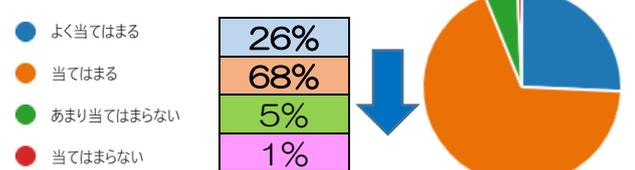
11 あなたは、保護者として、早寝・早起き（家族で決めた時刻）

・朝ごはんを守って生活するよう促している。



12 あなたは、保護者として、お子さんの話をよく聴いたり、

休日と一緒に活動したりするようにしている。



全体的な傾向	重点項目について
<p>1学期に引き続き全体的に評価が高く、「よく当てはまる」「当てはまる」の合計が80%を超える項目が12項目中8項目、90%を超える項目が6項目であった。また、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の割合が減少し、「よく当てはまる」「当てはまる」の割合が増加した項目が6項目ある。そのうち4項目は1学期に十分な評価を得られなかった5～10の設問にあり、改善が見られた。1学期の評価を受けて取り組んだことが、少しずつ成果として表れてきているとともに、1学期同様、本校の取組について保護者の皆様からご理解とご協力をいただいているからこそである。</p> <p>一方で、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」が20%を超える項目が依然としてある。今後も、児童や保護者、地域から信頼される学校となるよう、評価の結果や保護者会等のご意見を学校運営や指導に生かしていく。</p>	<p><「できた」「わかった」を実感する児童></p> <p>項目9「お子さんは、授業がよく分かると言っている」では、「よく当てはまる」「当てはまる」の割合が1学期の74%から78%へと増加した。本校の学力向上に向けた授業改善の取組が少しずつ成果として表れてきている。しかし、達成目標の80%には達していない。今後も取組を継続するとともに、どのお子さんも「授業が分かった、できた、楽しい」と感じられるように努めていく。</p> <p><進んで挨拶や返事をする児童></p> <p>項目6「お子さんは、進んで挨拶や返事をしている」では、「よく当てはまる」「当てはまる」の割合が1学期の82%から84%へと増加した。児童会の挨拶への取組（挨拶運動、あいさつ名人の紹介）により、児童が挨拶を交わすことのよさを実感したり、自己肯定感を高めたりすることができたからではないかと考えられる。また学校だけでなく、家庭や地域での関わりや働きかけもあり、児童の進んで挨拶や返事をする習慣化が図られている。「よく当てはまる」「当てはまる」の割合が90%以上になるよう、今後も取組を継続していく。</p>